

2019年度

履修の手引

(2019年度入学者適用)

長崎大学大学院教育学研究科

2019年度 教育学研究科年間予定表

前期

入学式	4月 2日 (火)
オリエンテーション	4月 3日 (水)
授 業	4月 8日 (月) ～ 7月30日 (火)
履修手続	4月 8日 (月) ～ 4月19日 (金)
中間発表会	4月27日 (土)
開学記念日	5月31日 (土)
定期試験	7月31日 (水) ～ 8月 6日 (火)
夏季休業	8月10日 (土) ～ 9月27日 (金)

後期

授 業	9月30日 (月) ～ 2月 1日 (金)
履修手続	9月23日 (月) ～10月11日 (金)
冬季休業	12月24日 (火) ～ 1月 3日 (金)
定期試験	2月 4日 (火) ～ 2月10日 (月)
成果発表会	2月14日 (金) ～ 2月15日 (土)
学位記授与式	3月25日 (水)

授業時間

校 時	時 間	備 考
1	8 : 5 0 ～ 1 0 : 2 0	通常の授業時間帯
2	1 0 : 3 0 ～ 1 2 : 0 0	
3	1 2 : 5 0 ～ 1 4 : 2 0	
4	1 4 : 3 0 ～ 1 6 : 0 0	
5	1 6 : 1 0 ～ 1 7 : 4 0	
6	1 8 : 0 0 ～ 1 9 : 3 0	特例による夜間の授業時間帯
7	1 9 : 4 0 ～ 2 1 : 1 0	

履 修 の 手 引 目 次

I. 教育学研究科履修案内	1
1. 教育学研究科の目的	1
2. 教育学研究科の構成と概要	1
3. 教育学研究科の専攻・コースの概要	2
4. 教育学研究科における履修プログラム	3
5. 履修基準と履修方法, 修了認定及び学位	3
6. 履修方法の特例措置(現職教員等)	5
7. 実習科目(学校教育実践実習)について	6
8. 最終レポート(実践研究報告書)	7
9. 指導教員届	7
10. 履修手続き	7
11. 履修科目の登録の上限	7
12. 成績評価に関する申立て	8
II. 教職実践専攻の授業科目, 単位数	9
III. 教育職員免許状の取得について	22
IV. 長崎大学大学院教育学研究科規程	49
V. 長崎大学大学院教育学研究科専門職学位課程学位審査手続要領	52
資料1	
○ 教育職員免許法(抜粋)	55
○ 教育職員免許法施行規則(抜粋)	57
資料2	
○ 教育学部配置図	68

※「長崎大学大学院学則」及び「長崎大学学位規則」については、長崎大学のホームページよりご覧ください。

(長崎大学トップページ⇒長崎大学について:大学案内⇒長崎大学規則集「第2編 学務」)
(URL: http://www1.g-reiki.net/nagasaki-u/reiki_taikei/r_taikei_02.html)

I. 教育学研究科履修案内

II. 教職実践専攻の授業科目, 単位数

III. 教育職員免許状の取得について

I. 教育学研究科履修案内

1. 教育学研究科の目的

本研究科は、精深な専門的知識・技能を授けることにより、創造性豊かな研究能力及び高度な教育実践力を有する人材を養成し、併せて現職教員の再教育に努め、教員の資質の向上及び学校教育の振興に資することを目的とする。

2. 教育学研究科の構成と概要

本研究科には、教職実践専攻の1専攻を置く。教職実践専攻は教職大学院として認められており、修了すれば、教職修士（専門職）の学位が与えられる。

教職実践専攻は、教職と教科に関する高度な専門的知識と能力を習得し、学校教育における優れた実践能力と課題解決能力を備えた教員の養成を目指しており、本専攻には、子ども理解・特別支援教育実践コース、学級経営・授業実践開発コース、教科授業実践コース、管理職養成コースの4コースを置く。

3. 教育学研究科の専攻，コースの概要

専攻	コ ー ス	概 要
教職実践専攻	子ども理解・特別支援教育実践コース	子どもたち一人ひとりの個性と教育的ニーズを的確に把握し，適切な指導と支援を行うことのできる高い専門知識と実践力を持つ教員を養成する。
	学級経営・授業実践開発コース	活力ある学級を作り，効果的な授業を実践できるとともに，学級・学校の機能をより向上させるマネジメント能力と，適切な教育課程を編成する力，授業を改善する力等を備えた，高い実践力を持つ教員を養成する。
	教科授業実践コース	教科内容に対する確かな理解と児童・生徒に対する深い理解に基づき，各教科を効果的に指導することができる高い授業実践力を持つ教員を養成する。
	管理職養成コース	深い教育的見識のもと複雑化・多様化した教育課題を的確に捉え，すぐれたマネジメントのもと組織的な学校運営を行い，教職員の人材育成，保護者や地域等との連携に力を発揮し，時代を見据えた学校づくりをリードする管理職を養成する。

4. 教育学研究科における履修プログラム

本研究科は、2年の修業年限（2年プログラム）を標準とするが、この他に、1年プログラム及び3年プログラムを開設する。

1年プログラムは、次に示す要件をすべて満たす現職教員に対して適用し、標準修業年限を1年とする。

- ① 正規職員としての教職経験が10年以上ある者、又は、同等の教育実践経験がある者
- ② 教育職員免許状（一種）を有する者
- ③ 実習科目10単位のうち、6単位を免除される者

2年プログラム（標準修業年限2年の履修課程）の現職教員等については、修学上の便宜を図るため大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を適用する。

3年プログラム（標準修業年限3年の履修課程）の学生は、教育職員普通免許状（一種）授与の所要資格を得るため、教育学部学校教育教員養成課程において開設する授業科目（教養教育科目を含む。）を履修することができる。なお、原則として取得できる免許状は1校種であり、中学校及び高等学校の免許状においては、1教科・領域に限る。

5. 履修基準と履修方法、修了認定及び学位

(1) 履修基準

研究科修了に必要な単位数は次表のとおりとする。

授業科目	単位数
専攻共通科目	20
コース科目	13
教育実習科目	10
実践研究指導科目	4
計	47

ただし、第3条の2第2項に該当する現職教員学生については、次表のとおりとする。

授業科目	単位数
専攻共通科目	20
コース科目	15
教育実習科目	10
実践研究指導科目	2
計	47

(2) 履修方法

①現職教員学生（第3条の2第2項に該当する学生を除く。）及び現職教員学生以外の履修方法

区分	科目区分	修得単位数	備考
必修	専攻共通科目	12単位	
	コース科目	4単位	注1参照
	実践研究指導科目	4単位	
選択	専攻共通科目	8単位以上	
	コース科目	9単位以上	注2参照
	教育実習科目	10単位	授業科目毎に（初等）又は（中等）のいずれかを選択し、合わせて10単位を修得すること。
合計		47単位以上	注3参照

②現職教員学生（第3条の2第2項に該当する学生に限る。）の履修方法

区分	科目区分	修得単位数	備考
必修	専攻共通科目	12単位	
	コース科目	4単位	注1参照
	実践研究指導科目	2単位	「学校教育実践研究3」1単位及び「学校教育実践研究4」1単位を修得すること。
選択	専攻共通科目	8単位以上	
	コース科目	11単位以上	注2参照
	教育実習科目	10単位	「学校教育実践実習4」及び「学校教育実践実習5」のそれぞれについて、（初等）又は（中等）のいずれかを選択し、合わせて4単位を修得すること。なお、第5条第3項の規定により履修を免除された実習の単位数6単位を含む。
合計		47単位以上	注3参照

注1 所属コースのコース科目のうち☆を付した授業科目は、同一科目名の（初等）又は（中等）のいずれかの科目を履修し、その単位を修得すること。

注2 所属コースのコース科目から4単位以上を修得すること。なお、専攻共通科目の修得単位数のうち必要修得単位数20単位を超える単位数及び他コースのコース科目の修得単位数を算入することができる。

注3 授業科目名に「（初等）」又は「（中等）」とある授業科目については、同一科目名の「（初等）」及び「（中等）」の2科目の単位を修得した場合でも、いずれか1科目の単位しか本表の修得単位数として算入できない。

（3）修了認定

教職実践専攻の修了認定の条件は次のとおりとする。

1. 所定の期間在学すること。
2. 所定の達成基準を満たし、47単位（1年プログラムの学生においては、履修を免除された単位数を含む。）以上を修得すること。
3. 最終レポート（実践研究報告書）の審査及び最終試験に合格すること。
4. 教育職員専修免許状の取得に必要な所定の単位数（3年プログラムの学生においては、一種免許状取得のための単位数を含む。）を修得すること。

（4）学位

教職実践専攻を修了した者には、教職修士（専門職）の学位を授与する。

6. 履修方法の特例措置（現職教員等）

大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置の適用を希望する現職教員等に対しては、高等教育を受ける機会を拡大するための措置を次のとおり実施する。

（1）修業年限

この特例の適用を受ける者は、標準修業年限2年間のうち、後半の1年間は夜間等における履修を認める。

（2）履修方法

- ① 特例を適用する場合、現職教員等は2年間のうち、最初の1年間は現職を離れて通常の時間帯の通学履修を原則とする。課程修了に必要な47単位のうち38単位以上を、通常の時間帯における履修によって修得しなければならない。

② 後半の1年間は在職校等で勤務しながら、原則として週1回以上定期的に通学し夜間等の時間帯で授業科目の履修の指導又は研究指導を受ける。

後半の1年間に履修することができる科目は、コース科目・教育実習科目・実践研究指導科目で、修得することができる単位数は合計10単位以下とする。

③ 特例による授業時間帯は夜間（6校時 18時00分～19時30分，7校時 19時40分～21時10分）及び夏季・冬季休業期間とし、必要に応じて特定の曜日にも授業を行う。

【授業時間帯】

校 時	授 業 時 間	備 考
1校時	8：50～10：20	通常の授業時間帯
2校時	10：30～12：00	
3校時	12：50～14：20	
4校時	14：30～16：00	
5校時	16：10～17：40	
6校時	18：00～19：30	特例による夜間の授業時間帯
7校時	19：40～21：10	

7. 実習科目（学校教育実践実習）について

教職大学院では、実践的指導力を強化するために、大学院生は10単位の实習科目（学校教育実践実習）を行う。

この実習科目で大学院生は、学校教育に関する基礎的・理論的な理解の上に、学級経営，授業実践，生徒指導，教育相談等にかかわる課題や問題に関し，指導教員の指導の下で自ら立案した計画に沿って解決策を実践し，経験することで，学校におけるさまざまな課題に主体的に取り組むことのできる資質能力を培うことが期待されている。

このような実習科目を効果的に行うために「学校教育実践研究1～4」が設けられている。この授業科目は，理論と実践とを架橋し，その往還を図るために，実習について省察する必修科目として設けられたものである。このなかで大学院生は，実習計画の作成，課題や実習内容等の検討，そして実践研究の計画・実施，実践研究報告書の作成について，指導教員の指導を受ける。（4単位必修。1年プログラムでは2単位必修）

実習科目では，大学院生が学校の教育活動全般を主体的に経験し，省察することを期待されており，学校教育実践実習1～5の各実習の中心となる内容を次のように定めている。

学校教育実践実習1・・・学級経営，生徒指導

学校教育実践実習2・・・学級経営，授業実践

学校教育実践実習 3 生徒指導, 教育相談

学校教育実践実習 4 各コース実践研究

学校教育実践実習 5 各コース実践研究

なお, 学校教育実践実習 1 ~ 5 は, 授業科目毎に (初等) 又は (中等) のいずれかを選択し, 合わせて 10 単位を修得すること。

また, 学校教育実践実習及び学校教育実践研究は, 各学生をそれぞれ 2 人以上の指導教員で担当, 指導する。

8. 最終レポート(実践研究報告書)

最終レポートは, 教職実践専攻各コースにおける教育実践報告とする。レポートの審査は, 指導教員を含む複数の教員によって行う。

9. 指導教員届

学生は, 履修指導を受けようとする指導教員の承認を得て, 所定の期日までに指導教員届を学務班に提出しなければならない。

10. 履修手続き

学生は, 指導教員の指導のもとに毎学期所定の期日までに履修手続きを行わなければならない。

11. 履修科目の登録の上限

学生が履修科目として登録することのできる単位数の上限 (以下「上限単位数」という。) は, 1 年間に 40 単位とし, 1 学期当たり 25 単位とする。ただし, 集中講義及び不定期開講の授業科目については, 上限単位数に算入しない。

なお, 学生が前期において履修を登録したすべての授業科目の単位について, 次の計算方式によるグレード・ポイント・アベレージ (以下「GPA」という。) が 2.8 以上であり, 所属コースが教育上必要があると認めるときは, 教務委員会の議を経て, 後期において上限単位数を超えて履修科目を登録することができる。この場合の上限単位数は, 1 年間に 50 単位とする。

$$\text{GPA} = (\text{評価AAの単位数} \times 4 + \text{評価Aの単位数} \times 3 + \text{評価Bの単位数} \times 2 + \text{評価Cの単位数} \times 1 + \text{評価D (失格, 欠席等を含む。)の単位数} \times 0) / \text{履修登録単位総数}$$

1 2. 成績評価に関する申立て

- ① 長崎大学大学院教育学研究科規程第7条第4項による申立てを行おうとする学生は、成績公開日から2週間以内（最終学年後期の成績については2日以内）に所定の様式による申立書を学務班に提出するものとする。
- ② 申立てを受けた授業担当教員は、申立書受理日から1週間以内（最終学年後期の成績については2日以内）に所定の様式による回答書を学務班に提出するものとする。
- ③ 教務委員長は、前項の回答書の内容について申立てを行った学生に通知するものとする。
- ④ 申立書への回答の通知を受けた学生は、回答内容についての確認書を作成のうえ学務班に提出するものとする。

Ⅱ. 教職実践専攻の授業科目，単位数

1 現職教員学生以外の授業科目及び単位数

注意事項

- (1) 専攻共通科目において「特」を付した授業科目は，子ども理解・特別支援教育実践コース，学級経営・授業実践開発コース及び教科授業実践コースの学生の中で，特別支援学校教諭専修免許状の取得を希望する学生を対象とした科目を表す。
- (2) 専攻共通科目は，領域1から領域8までの領域ごとに1科目以上を履修し，その単位を修得すること。
- (3) 授業科目名に「Ⅰ」又は「Ⅱ」とある授業科目については，「Ⅰ」が現職教員学生以外を対象とした科目を表し，「Ⅱ」が現職教員学生を対象とした科目を表す。
- (4) 所属コースのコース科目のうち☆を付した授業科目は，同一科目名の（初等）又は（中等）のいずれかの科目を履修し，その単位を修得すること。
- (5) コース科目のうち※を付した授業科目は，複数コース間の共通開設科目である。
- (6) 特別支援学校教諭専修免許状の取得を希望する学生は，※を付した授業科目を全て履修し，その単位を修得すること。

科目区分	領域	授業科目	単位	
			必修	選択
専攻共通科目	領域1	学習指導要領と教育課程（初等）		2
		学習指導要領と教育課程（中等）		2
	領域2	授業研究の理論と実践		2
		特* 特別支援教育の授業・教育課程論		2
	領域3	児童生徒の理解と方法		2
		教育相談の理論と実際		2
		特* 特別支援教育の心理学		2
	領域4	学級経営と学校経営の理論と実践	2	
	領域5	教員の資質と職務		2
		特* 特別支援教育コーディネーター論		2
	領域6	教育の情報化の研究と実際	2	
	領域7	特* 特別支援教育の基礎理論	2	
	領域8	授業デザイン演習	6	

子ども理解・特別支援教育実践コースのコース科目	☆ 生徒指導・キャリア教育の方法（初等）		2
	☆ 生徒指導・キャリア教育の方法（中等）		2
	学校カウンセリングの実践法		2
	発達と学習の心理学		2
	* 特別支援教育のシステム論		2
	* 特別支援アセスメント事例研究		2
	* 発達障害児の理解と支援	2	
	* 特別支援教育の生理・病理学		2
	* 肢体不自由児の理解と支援		2
	* 病弱児の理解と支援		2
	* 重度重複障害児の理解と支援		2
	* 特別支援学校・学級経営論		2
	学級集団づくり・ソーシャルスキル教育の指導法		2
	※ 学校の危機管理		2

学級経営・授業実践開発コースのコース科目	学級経営における人間関係の形成	2	
	☆ 教科経営の実際と授業分析・評価Ⅰ（初等）		2
	☆ 教科経営の実際と授業分析・評価Ⅰ（中等）		2
	教科経営の実際と授業分析・評価Ⅱ（初等）		2
	教科経営の実際と授業分析・評価Ⅱ（中等）		2
	※ 教材論と学習指導の実際（初等）		2
	※ 教材論と学習指導の実際（中等）		2
	※ カリキュラムの理論と実践（初等）		2
	※ カリキュラムの理論と実践（中等）		2
	※ 学校の危機管理		2
	道徳教育の理論と実際		2
	地域の特徴と教育の実際		2
	総合的な学習の編成と実践		2
	人権教育の理論と実際		2
	福祉教育の理論と実際		2
	国際理解ワークショップ		2
	ICT活用と教材研究		2
	複式学級の教育と実際		2

教科授業実践コースのコース科目	教科の授業と指導に関する分野	教科の指導と評価Ⅰ	2	
		教科の指導と評価Ⅱ		2
		教科指導におけるカリキュラム・マネジメントと情報活用能力の育成	2	
		※ 教材論と学習指導の実際（初等）		2
		※ 教材論と学習指導の実際（中等）		2
		※ カリキュラムの理論と実践（初等）		2
		※ カリキュラムの理論と実践（中等）		2
		※ 学校の危機管理		2
		国語科教育の理論と方法（初等）		2
		国語科教育の理論と方法（中等）		2
		国語科教育の実践と課題（初等）		2
		国語科教育の実践と課題（中等）		2
		社会科・地理歴史科教育の理論と方法（初等）		2
		社会科・地理歴史科教育の理論と方法（中等）		2
		社会科・公民科教育の理論と方法（初等）		2
		社会科・公民科教育の理論と方法（中等）		2
		理科教育課程と指導計画（初等）		2
		理科教育課程と指導計画（中等）		2
		理科授業設計（初等）		2
		理科授業設計（中等）		2
		音楽科教育実践研究（初等）		2
		音楽科教育実践研究（中等）		2
		情操を育む音楽活動実践研究（初等）		2
		情操を育む音楽活動実践研究（中等）		2
		美術の教材開発 a（心象表現）（初等）		2
		美術の教材開発 a（心象表現）（中等）		2
		美術の教材開発 b（目的表現）（初等）		2
		美術の教材開発 b（目的表現）（中等）		2
		健康教育の理論と実際		2
		身体教育の理論と実際		2
		技術科教育（材料と加工及び生物育成）の実践と課題		2
		技術科教育（エネルギー変換及び情報）の実践と課題		2
		家庭科授業の研究と開発（初等）		2
		家庭科授業の研究と開発（中等）		2
		家庭科のカリキュラム編成と授業づくり（初等）		2
		家庭科のカリキュラム編成と授業づくり（中等）		2
		英語科教育の実践と課題（初等）		2
		英語科教育の実践と課題（中等）		2
		英語学力評価の理論と方法・技術		2
		小学校外国語活動の実践と課題		2

教科授業実践コースのコース科目	教科内容の研究と実践に関する分野	伝統的言語文化と国語の特質に関する教科内容研究法		2
		授業に活かす国語教材研究法（読む）		2
		授業に活かす国語教材研究法（書く）		2
		社会認識を育む社会科理解と教材研究(地理歴史分野)		2
		社会認識を育む社会科理解と教材研究(公民分野)		2
		物質とエネルギー分野の教材研究		2
		生命と地球分野の教材研究		2
		自然環境と科学技術の理解と授業実践課題		2
		器楽表現における教材研究		2
		歌唱表現における教材研究		2
		合唱・合奏の理解を深める理論と実践		2
		美術における心象表現		2
		美術の理論と実践		2
		身体運動の理論と実際		2
		学校保健の理論と実際		2
		電気と情報の教育展開		2
		環境とエネルギーの教育展開		2
		工作とものづくりの教育展開		2
		食生活の理解と実践		2
		消費生活の理解と実践		2
		住生活の理解と実践		2
		家族・子どもの理解と実践		2
		英語教育教材の分析と開発		2
英文法指導のための実践研究		2		
コミュニケーション・ランゲージ・ティーチングの基本と実践		2		
授業のための英語文化理解		2		

教育実習科目	学校教育実践実習 1 (初等)		2
	学校教育実践実習 1 (中等)		2
	学校教育実践実習 2 (初等)		2
	学校教育実践実習 2 (中等)		2
	学校教育実践実習 3 (初等)		2
	学校教育実践実習 3 (中等)		2
	学校教育実践実習 4 (初等)		2
	学校教育実践実習 4 (中等)		2
	学校教育実践実習 5 (初等)		2
	学校教育実践実習 5 (中等)		2
実践研究指導科目	学校教育実践研究 1	1	
	学校教育実践研究 2	1	
	学校教育実践研究 3	1	
	学校教育実践研究 4	1	
計		24	226

2 現職教員学生の授業科目及び単位数

注意事項

- (1) 専攻共通科目において、「特」を付した授業科目は、子ども理解・特別支援教育実践コース、学級経営・授業実践開発コース及び教科授業実践コースの学生のうち、特別支援学校教諭専修免許状の取得を希望する学生を対象とした科目を表す。
- (2) 専攻共通科目及び教育実習科目において、「教」を付した授業科目は子ども理解・特別支援教育実践コース、学級経営・授業実践開発コース及び教科授業実践コースの学生を対象とした科目を表し、「管」を付した授業科目は管理職養成コースの学生を対象とした科目を表す。
- (3) 専攻共通科目は、領域1から領域8までの領域ごとに1科目以上を履修し、その単位を修得すること。
- (4) 授業科目名に「Ⅰ」又は「Ⅱ」とある授業科目については、「Ⅰ」が現職教員学生以外を対象とした科目を表し、「Ⅱ」が現職教員学生を対象とした科目を表す。
- (5) 所属コースのコース科目のうち、☆を付した授業科目は、同一科目名の（初等）又は（中等）のいずれかを履修し、その単位を修得すること。
- (6) ※を付した授業科目は、複数コース間の共通開設科目である。
- (7) 特別支援学校教諭専修免許状の取得を希望する学生は、*を付した授業科目を全て履修し、その単位を修得すること。
- (8) 第3条の2第2項に該当する学生については、実践研究指導科目の「学校教育実践研究1」及び「学校教育実践研究2」を選択科目とする。

科目区分	領域	授業科目	単位	
			必修	選択
専攻共通科目	領域1	教 学習指導要領と教育課程（初等）		2
		教 学習指導要領と教育課程（中等）		2
		管 カリキュラム・マネジメント		2
	領域2	教 授業研究の理論と実践		2
		特* 特別支援教育の授業・教育課程論		2
		管 授業研究と教師教育		2
	領域3	教 児童生徒の理解と方法		2
		教 教育相談の理論と実際		2
		特* 特別支援教育の心理学		2
		管 学校危機管理の理論と実践		2
	領域4	学級経営と学校経営の理論と実践	2	
	領域5	教 教員の資質と職務		2
		特*※特別支援教育コーディネーター論		2
		管 リーダーの役割と資質		2
	領域6	教育の情報化の研究と実際	2	
	領域7	* 特別支援教育の基礎理論	2	
	領域8	教 授業デザイン演習	} いずれかを履修し、その単位を修得すること。	6
		管 学校組織マネジメント演習		6

子ども理解・特別支援教育実践コースのコース科目	☆ 生徒指導・キャリア教育の方法（初等）		2
	☆ 生徒指導・キャリア教育の方法（中等）		2
	学校カウンセリングの実践法		2
	発達と学習の心理学		2
	* 特別支援教育のシステム論		2
	* 特別支援アセスメント事例研究		2
	* 発達障害児の理解と支援	2	
	* 特別支援教育の生理・病理学		2
	* 肢体不自由児の理解と支援		2
	* 病弱児の理解と支援		2
	* 重度重複障害児の理解と支援		2
	* 特別支援学校・学級経営論		2
	学級集団づくり・ソーシャルスキル教育の指導法		2
	※ 学校の危機管理		2

学級経営・授業実践開発 コースのコース科目	学級経営における人間関係の形成	2	
	教科経営の実際と授業分析・評価Ⅰ（初等）		2
	教科経営の実際と授業分析・評価Ⅰ（中等）		2
	☆ 教科経営の実際と授業分析・評価Ⅱ（初等）		2
	☆ 教科経営の実際と授業分析・評価Ⅱ（中等）		2
	※ 教材論と学習指導の実際（初等）		2
	※ 教材論と学習指導の実際（中等）		2
	※ カリキュラムの理論と実践（初等）		2
	※ カリキュラムの理論と実践（中等）		2
	※ 学校の危機管理		2
	道徳教育の理論と実際		2
	地域の特徴と教育の実際		2
	総合的な学習の編成と実践		2
	※ 人権教育の理論と実際		2
	※ 福祉教育の理論と実際		2
	国際理解ワークショップ		2
	ICT活用と教材研究		2
	複式学級の教育と実際		2

教科授業実践コース のコース科目	教科の授業と指導に関する分野	教科の指導と評価Ⅰ		2
		教科の指導と評価Ⅱ	2	
		※ 教科指導におけるカリキュラム・マネジメントと情報活用能力の育成	2	
		※ 教材論と学習指導の実際（初等）		2
		※ 教材論と学習指導の実際（中等）		2
		※ カリキュラムの理論と実践（初等）		2
		※ カリキュラムの理論と実践（中等）		2
		※ 学校の危機管理		2
		国語科教育の理論と方法（初等）		2
		国語科教育の理論と方法（中等）		2
		国語科教育の実際と課題（初等）		2
		国語科教育の実際と課題（中等）		2
		社会科・地理歴史科教育の理論と方法（初等）		2
		社会科・地理歴史科教育の理論と方法（中等）		2
		社会科・公民科教育の理論と方法（初等）		2
		社会科・公民科教育の理論と方法（中等）		2
		理科教育課程と指導計画（初等）		2
		理科教育課程と指導計画（中等）		2
		理科授業設計（初等）		2
		理科授業設計（中等）		2
		音楽科教育実践研究（初等）		2
		音楽科教育実践研究（中等）		2
		情操を育む音楽活動実践研究（初等）		2
		情操を育む音楽活動実践研究（中等）		2
		美術の教材開発 a（心象表現）（初等）		2
		美術の教材開発 a（心象表現）（中等）		2
		美術の教材開発 b（目的表現）（初等）		2
		美術の教材開発 b（目的表現）（中等）		2
		健康教育の理論と実際		2
		身体教育の理論と実際		2
		技術科教育（材料と加工及び生物育成）の実際と課題		2
		技術科教育（エネルギー変換及び情報）の実際と課題		2
		家庭科授業の研究と開発（初等）		2
		家庭科授業の研究と開発（中等）		2
		家庭科のカリキュラム編成と授業づくり（初等）		2
		家庭科のカリキュラム編成と授業づくり（中等）		2
		英語科教育の実際と課題（初等）		2
		英語科教育の実際と課題（中等）		2
		英語学力評価の理論と方法・技術		2
		※ 小学校外国語活動の実際と課題		2

教科授業実践コース のコース科目	教科 内容 の 研究 と 実 践 に 関 す る 分 野	伝統的言語文化と国語の特質に関する教科内容研究法	2
		授業に活かす国語教材研究法（読む）	2
		授業に活かす国語教材研究法（書く）	2
		社会認識を育む社会科理解と教材研究(地理歴史分野)	2
		社会認識を育む社会科理解と教材研究(公民分野)	2
		物質とエネルギー分野の教材研究	2
		生命と地球分野の教材研究	2
		自然環境と科学技術の理解と授業実践課題	2
		器楽表現における教材研究	2
		歌唱表現における教材研究	2
		合唱・合奏の理解を深める理論と実践	2
		美術における心象表現	2
		美術の理論と実践	2
		身体運動の理論と実際	2
		学校保健の理論と実際	2
		電気と情報の教育展開	2
		環境とエネルギーの教育展開	2
		工作とものづくりの教育展開	2
		食生活の理解と実践	2
		消費生活の理解と実践	2
		住生活の理解と実践	2
		家族・子どもの理解と実践	2
		英語教育教材の分析と開発	2
		英文法指導のための実践研究	2
コミュニケーション・ランゲージ・ティーチングの基本と実践	2		
授業のための英語文化理解	2		

管理職養成コースのコース科目	学校経営総論	2	
	インクルーシブ教育システムの構築	2	
	※※特別支援教育コーディネーター論		2
	※ 人権教育の理論と実際		2
	※ 福祉教育の理論と実際		2
	※ 教科指導におけるカリキュラム・マネジメントと情報活用能力の育成		2
	※ 小学校外国語活動の実践と課題		2
	※ 学校の危機管理		2

教育実習科目	教 学校教育実践実習 1 (初等)		2
	教 学校教育実践実習 1 (中等)		2
	教 学校教育実践実習 2 (初等)		2
	教 学校教育実践実習 2 (中等)		2
	教 学校教育実践実習 3 (初等)		2
	教 学校教育実践実習 3 (中等)		2
	教 学校教育実践実習 4 (初等)		2
	教 学校教育実践実習 4 (中等)		2
	教 学校教育実践実習 5 (初等)		2
	教 学校教育実践実習 5 (中等)		2
	管 学校教育実践実習 1	2	
	管 学校教育実践実習 2	2	
	管 学校教育実践実習 3	2	
	管 学校教育実践実習 4	2	
	管 学校教育実践実習 5	2	
実践研究指導科目	学校教育実践研究 1	1	
	学校教育実践研究 2	1	
	学校教育実践研究 3	1	
	学校教育実践研究 4	1	
計		32	258

Ⅲ. 教育職員免許状の取得について

(1) 取得できる免許状の種類

- ① 本研究科において取得できる専修免許状は、別表1のとおりである。ただし、専修免許状の所要資格を得ようとする場合は、取得しようとする専修免許状（中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状については、その免許教科）の一種免許状を有することが必要である。
- ② 3年プログラムへの入学者（教育職員一種免許状及び専修免許状の取得のための所要資格を得ることを目的として入学し、標準修業年限が3年の者。）については、所定の単位を修得することにより、一種免許状及び専修免許状取得のための所要資格を得ることができる。

(2) 専修免許状取得のための必要単位数

幼稚園教諭専修免許状，小学校教諭専修免許状，中学校教諭専修免許状，高等学校教諭専修免許状，特別支援学校教諭専修免許状取得のためには，教職課程認定科目の教職に関する科目，特別支援教育に関する科目の中から各学校種（教科・領域）に応じた授業科目を24単位以上修得しなければならない。

学校種（教科・領域）毎の教職課程認定科目については，別表2を参照すること。

(別表1)

専攻	コース	取得できる専修免許状	
		学校種	教科・領域
教職実践	子ども理解・特別支援教育実践コース 学級経営・授業実践開発コース 教科授業実践コース 管理職養成コース	幼稚園	
		小学校	
		中学校	国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術，家庭，英語
		高等学校	国語，地理歴史，公民，数学，理科，音楽，美術，書道，保健体育，家庭，情報，工業，英語
		特別支援学校 ※1	知的障害者，肢体不自由者，病弱者 ※2(視覚障害者，聴覚障害者)

※1 1年プログラムにおける特別支援学校教諭専修免許状の取得にあたっては，原則として子ども理解・特別支援教育実践コースに所属する場合に限り，専修免許状を取得することができる。

※2 特別支援学校教諭専修免許状の取得にあたっては，「知的障害者，肢体不自由者，病弱者」の領域と「視覚障害者」及び「聴覚障害者」の領域の一種免許状を併せ持つ場合に限り，「視覚障害者」及び「聴覚障害者」の領域についての専修免許状を取得できる。

幼稚園教諭専修免許状	
<p>【専攻共通科目】 学習指導要領と教育課程（初等） カリキュラム・マネジメント 授業研究の理論と実践 授業研究と教師教育 学校危機管理の理論と実践 学級経営と学校経営の理論と実践 教員の資質と職務 リーダーの役割と資質 教育の情報化の研究と実際 授業デザイン演習 学校組織マネジメント演習</p> <p>【子ども理解・特別支援教育実践コースのコース科目】 発達と学習の心理学 学級集団づくり・ソーシャルスキル教育の指導法 ※ 学校の危機管理</p> <p>【学級経営・授業実践開発コースのコース科目】 学級経営における人間関係の形成 ※ 教材論と学習指導の実際（初等） ※ カリキュラムの理論と実践（初等） ※ 学校の危機管理 地域の特徴と教育の実際 総合的な学習の編成と実践 ※ 人権教育の理論と実際 ※ 福祉教育の理論と実際 ICT活用と教材研究</p>	<p>【教科授業実践コースのコース科目】 教科の指導と評価Ⅰ 教科の指導と評価Ⅱ ※ 教科指導におけるカリキュラム・マネジメントと情報活用能力の育成 ※ 教材論と学習指導の実際（初等） ※ カリキュラムの理論と実践（初等） ※ 学校の危機管理</p> <p>【管理職養成コースのコース科目】 学校経営総論 インクルーシブ教育システムの構築 ※ 人権教育の理論と実際 ※ 福祉教育の理論と実際 ※ 教科指導におけるカリキュラム・マネジメントと情報活用能力の育成 ※ 学校の危機管理</p> <p>【教育実習科目】 学校教育実践実習1（初等） 学校教育実践実習2（初等） 学校教育実践実習3（初等） 学校教育実践実習4（初等） 学校教育実践実習5（初等） 学校教育実践実習1 学校教育実践実習2 学校教育実践実習3 学校教育実践実習4 学校教育実践実習5</p>

教育職員普通免許状（専修免許状）を取得するためには、免許状の種類に応じて本表中の授業科目を、合計24単位以上修得すること。

なお、※印の科目は、複数のコース共通開設科目である。（ダブルカウントできない。）

専修免許状取得のための教職課程認定科目一覧

小学校教諭専修免許状

<p>【専攻共通科目】 学習指導要領と教育課程（初等） カリキュラム・マネジメント 授業研究の理論と実践 授業研究と教師教育 児童生徒の理解と方法 教育相談の理論と実際 学校危機管理の理論と実践 学級経営と学校経営の理論と実践 教員の資質と職務 リーダーの役割と資質 教育の情報化の研究と実際 授業デザイン演習 学校組織マネジメント演習</p> <p>【子ども理解・特別支援教育実践コースのコース科目】 生徒指導・キャリア教育の方法（初等） 学校カウンセリングの実践法 発達と学習の心理学 学級集団づくり・ソーシャルスキル教育の指導法</p> <p>※ 学校の危機管理</p> <p>【学級経営・授業実践開発コースのコース科目】 学級経営における人間関係の形成 教科経営の実際と授業分析・評価Ⅰ（初等） 教科経営の実際と授業分析・評価Ⅱ（初等）</p> <p>※ 教材論と学習指導の実際（初等） ※ カリキュラムの理論と実践（初等） ※ 学校の危機管理 道徳教育の理論と実際 地域の特徴と教育の実際 総合的な学習の編成と実践</p> <p>※ 人権教育の理論と実際 ※ 福祉教育の理論と実際 国際理解ワークショップ ICT活用と教材研究 複式学級の教育と実際</p>	<p>【教科授業実践コースのコース科目】 教科の指導と評価Ⅰ 教科の指導と評価Ⅱ</p> <p>※ 教科指導におけるカリキュラム・マネジメントと情報活用能力の育成 ※ 教材論と学習指導の実際（初等） ※ カリキュラムの理論と実践（初等） ※ 学校の危機管理 国語科教育の理論と方法（初等） 国語科教育の実際と課題（初等） 社会科・地理歴史科教育の理論と方法（初等） 社会科・公民科教育の理論と方法（初等） 理科教育課程と指導計画（初等） 理科授業設計（初等） 音楽科教育実践研究（初等） 情操を育む音楽活動実践研究（初等） 美術の教材開発 a（心象表現）（初等） 美術の教材開発 b（目的表現）（初等） 健康教育の理論と実際 身体教育の理論と実際 家庭科授業の研究と開発（初等） 家庭科のカリキュラム編成と授業づくり（初等） 英語科教育の実際と課題（初等）</p> <p>※ 小学校外国語活動の実際と課題</p> <p>【管理職養成コースのコース科目】 学校経営総論 インクルーシブ教育システムの構築</p> <p>※ 人権教育の理論と実際 ※ 福祉教育の理論と実際 ※ 教科指導におけるカリキュラム・マネジメントと情報活用能力の育成 ※ 小学校外国語活動の実際と課題 ※ 学校の危機管理</p> <p>【教育実習科目】 学校教育実践実習 1（初等） 学校教育実践実習 2（初等） 学校教育実践実習 3（初等） 学校教育実践実習 4（初等） 学校教育実践実習 5（初等） 学校教育実践実習 1 学校教育実践実習 2 学校教育実践実習 3 学校教育実践実習 4 学校教育実践実習 5</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

教育職員普通免許状（専修免許状）を取得するためには、免許状の種類に応じて本表中の授業科目を、合計 24 単位以上修得すること。

なお、※印の科目は、複数のコース共通開設科目である。（ダブルカウントできない。）

専修免許状取得のための教職課程認定科目一覧

中学校教諭専修免許状（国 語）

<p>【専攻共通科目】 学習指導要領と教育課程（中等） カリキュラム・マネジメント 授業研究の理論と実践 授業研究と教師教育 児童生徒の理解と方法 教育相談の理論と実際 学校危機管理の理論と実践 学級経営と学校経営の理論と実践 教員の資質と職務 リーダーの役割と資質 教育の情報化の研究と実際 授業デザイン演習 学校組織マネジメント演習</p> <p>【子ども理解・特別支援教育実践コースのコース科目】 生徒指導・キャリア教育の方法（中等） 学校カウンセリングの実践法 発達と学習の心理学 学級集団づくり・ソーシャルスキル教育の指導法</p> <p>※ 学校の危機管理</p> <p>【学級経営・授業実践開発コースのコース科目】 学級経営における人間関係の形成 教科経営の実際と授業分析・評価Ⅰ（中等） 教科経営の実際と授業分析・評価Ⅱ（中等）</p> <p>※ 教材論と学習指導の実際（中等） ※ カリキュラムの理論と実践（中等） ※ 学校の危機管理 道徳教育の理論と実際 地域の特徴と教育の実際 総合的な学習の編成と実践</p> <p>※ 人権教育の理論と実際 ※ 福祉教育の理論と実際 国際理解ワークショップ I C T活用と教材研究 複式学級の教育と実際</p>	<p>【教科授業実践コースのコース科目】 教科の指導と評価Ⅰ 教科の指導と評価Ⅱ</p> <p>※ 教科指導におけるカリキュラム・マネジメントと情報活用能力の育成 ※ 教材論と学習指導の実際（中等） ※ カリキュラムの理論と実践（中等） ※ 学校の危機管理 国語科教育の理論と方法（中等） 国語科教育の実践と課題（中等）</p> <p>【管理職養成コースのコース科目】 学校経営総論 インクルーシブ教育システムの構築</p> <p>※ 人権教育の理論と実際 ※ 福祉教育の理論と実際 ※ 教科指導におけるカリキュラム・マネジメントと情報活用能力の育成 ※ 学校の危機管理</p> <p>【教育実習科目】 学校教育実践実習 1（中等） 学校教育実践実習 2（中等） 学校教育実践実習 3（中等） 学校教育実践実習 4（中等） 学校教育実践実習 5（中等） 学校教育実践実習 1 学校教育実践実習 2 学校教育実践実習 3 学校教育実践実習 4 学校教育実践実習 5</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

教育職員普通免許状（専修免許状）を取得するためには、免許状の種類に応じて本表中の授業科目を、合計24単位以上修得すること。

なお、※印の科目は、複数のコース共通開設科目である。（ダブルカウントできない。）

専修免許状取得のための教職課程認定科目一覧

中学校教諭専修免許状（社 会）

<p>【専攻共通科目】 学習指導要領と教育課程（中等） カリキュラム・マネジメント 授業研究の理論と実践 授業研究と教師教育 児童生徒の理解と方法 教育相談の理論と実際 学校危機管理の理論と実践 学級経営と学校経営の理論と実践 教員の資質と職務 リーダーの役割と資質 教育の情報化の研究と実際 授業デザイン演習 学校組織マネジメント演習</p> <p>【子ども理解・特別支援教育実践コースのコース科目】 生徒指導・キャリア教育の方法（中等） 学校カウンセリングの実践法 発達と学習の心理学 学級集団づくり・ソーシャルスキル教育の指導法</p> <p>※ 学校の危機管理</p> <p>【学級経営・授業実践開発コースのコース科目】 学級経営における人間関係の形成 教科経営の実際と授業分析・評価Ⅰ（中等） 教科経営の実際と授業分析・評価Ⅱ（中等）</p> <p>※ 教材論と学習指導の実際（中等） ※ カリキュラムの理論と実践（中等） ※ 学校の危機管理 道徳教育の理論と実際 地域の特徴と教育の実際 総合的な学習の編成と実践</p> <p>※ 人権教育の理論と実際 ※ 福祉教育の理論と実際 国際理解ワークショップ ICT活用と教材研究 複式学級の教育と実際</p>	<p>【教科授業実践コースのコース科目】 教科の指導と評価Ⅰ 教科の指導と評価Ⅱ</p> <p>※ 教科指導におけるカリキュラム・マネジメントと情報活用能力の育成 ※ 教材論と学習指導の実際（中等） ※ カリキュラムの理論と実践（中等） ※ 学校の危機管理 社会科・地理歴史科教育の理論と方法（中等） 社会科・公民科教育の理論と方法（中等）</p> <p>【管理職養成コースのコース科目】 学校経営総論 インクルーシブ教育システムの構築</p> <p>※ 人権教育の理論と実際 ※ 福祉教育の理論と実際 ※ 教科指導におけるカリキュラム・マネジメントと情報活用能力の育成 ※ 学校の危機管理</p> <p>【教育実習科目】 学校教育実践実習 1（中等） 学校教育実践実習 2（中等） 学校教育実践実習 3（中等） 学校教育実践実習 4（中等） 学校教育実践実習 5（中等） 学校教育実践実習 1 学校教育実践実習 2 学校教育実践実習 3 学校教育実践実習 4 学校教育実践実習 5</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

教育職員普通免許状（専修免許状）を取得するためには、免許状の種類に応じて本表中の授業科目を、合計24単位以上修得すること。

なお、※印の科目は、複数のコース共通開設科目である。（ダブルカウントできない。）

専修免許状取得のための教職課程認定科目一覧

中学校教諭専修免許状（数 学）

<p>【専攻共通科目】 学習指導要領と教育課程（中等） カリキュラム・マネジメント 授業研究の理論と実践 授業研究と教師教育 児童生徒の理解と方法 教育相談の理論と実際 学校危機管理の理論と実践 学級経営と学校経営の理論と実践 教員の資質と職務 リーダーの役割と資質 教育の情報化の研究と実際 授業デザイン演習 学校組織マネジメント演習</p> <p>【子ども理解・特別支援教育実践コースのコース科目】 生徒指導・キャリア教育の方法（中等） 学校カウンセリングの実践法 発達と学習の心理学 学級集団づくり・ソーシャルスキル教育の指導法 ※ 学校の危機管理</p> <p>【学級経営・授業実践開発コースのコース科目】 学級経営における人間関係の形成 教科経営の実際と授業分析・評価Ⅰ（中等） 教科経営の実際と授業分析・評価Ⅱ（中等） ※ 教材論と学習指導の実際（中等） ※ カリキュラムの理論と実践（中等） ※ 学校の危機管理 道徳教育の理論と実際 地域の特徴と教育の実際 総合的な学習の編成と実践 ※ 人権教育の理論と実際 ※ 福祉教育の理論と実際 国際理解ワークショップ I C T活用と教材研究 複式学級の教育と実際</p>	<p>【教科授業実践コースのコース科目】 教科の指導と評価Ⅰ 教科の指導と評価Ⅱ ※ 教科指導におけるカリキュラム・マネジメントと情報活用能力の育成 ※ 教材論と学習指導の実際（中等） ※ カリキュラムの理論と実践（中等） ※ 学校の危機管理</p> <p>【管理職養成コースのコース科目】 学校経営総論 インクルーシブ教育システムの構築 ※ 人権教育の理論と実際 ※ 福祉教育の理論と実際 ※ 教科指導におけるカリキュラム・マネジメントと情報活用能力の育成 ※ 学校の危機管理</p> <p>【教育実習科目】 学校教育実践実習 1（中等） 学校教育実践実習 2（中等） 学校教育実践実習 3（中等） 学校教育実践実習 4（中等） 学校教育実践実習 5（中等） 学校教育実践実習 1 学校教育実践実習 2 学校教育実践実習 3 学校教育実践実習 4 学校教育実践実習 5</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

教育職員普通免許状（専修免許状）を取得するためには、免許状の種類に応じて本表中の授業科目を、合計24単位以上修得すること。

なお、※印の科目は、複数のコース共通開設科目である。（ダブルカウントできない。）

専修免許状取得のための教職課程認定科目一覧

中学校教諭専修免許状（理 科）

<p>【専攻共通科目】 学習指導要領と教育課程（中等） カリキュラム・マネジメント 授業研究の理論と実践 授業研究と教師教育 児童生徒の理解と方法 教育相談の理論と実際 学校危機管理の理論と実践 学級経営と学校経営の理論と実践 教員の資質と職務 リーダーの役割と資質 教育の情報化の研究と実際 授業デザイン演習 学校組織マネジメント演習</p> <p>【子ども理解・特別支援教育実践コースのコース科目】 生徒指導・キャリア教育の方法（中等） 学校カウンセリングの実践法 発達と学習の心理学 学級集団づくり・ソーシャルスキル教育の指導法</p> <p>※ 学校の危機管理</p> <p>【学級経営・授業実践開発コースのコース科目】 学級経営における人間関係の形成 教科経営の実際と授業分析・評価Ⅰ（中等） 教科経営の実際と授業分析・評価Ⅱ（中等）</p> <p>※ 教材論と学習指導の実際（中等） ※ カリキュラムの理論と実践（中等） ※ 学校の危機管理 道徳教育の理論と実際 地域の特徴と教育の実際 総合的な学習の編成と実践</p> <p>※ 人権教育の理論と実際 ※ 福祉教育の理論と実際 国際理解ワークショップ I C T活用と教材研究 複式学級の教育と実際</p>	<p>【教科授業実践コースのコース科目】 教科の指導と評価Ⅰ 教科の指導と評価Ⅱ</p> <p>※ 教科指導におけるカリキュラム・マネジメントと情報活用能力の育成 ※ 教材論と学習指導の実際（中等） ※ カリキュラムの理論と実践（中等） ※ 学校の危機管理 理科教育課程と指導計画（中等） 理科授業設計（中等）</p> <p>【管理職養成コースのコース科目】 学校経営総論 インクルーシブ教育システムの構築</p> <p>※ 人権教育の理論と実際 ※ 福祉教育の理論と実際 ※ 教科指導におけるカリキュラム・マネジメントと情報活用能力の育成 ※ 学校の危機管理</p> <p>【教育実習科目】 学校教育実践実習 1（中等） 学校教育実践実習 2（中等） 学校教育実践実習 3（中等） 学校教育実践実習 4（中等） 学校教育実践実習 5（中等） 学校教育実践実習 1 学校教育実践実習 2 学校教育実践実習 3 学校教育実践実習 4 学校教育実践実習 5</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

教育職員普通免許状（専修免許状）を取得するためには、免許状の種類に応じて本表中の授業科目を、合計24単位以上修得すること。

なお、※印の科目は、複数のコース共通開設科目である。（ダブルカウントできない。）

